

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2025年 8月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2025年 8月 1日発行 通巻387号

本格的な夏到来 !!

暑さ対策をしっかりと…

水分と休憩をこまめに…

8月号 目次

ページ

- 02…目次・投稿フォーム書式案内・表紙写真説明
- 03…7月理事会報告
- 07…山行報告1：御岳山・日の出山・皇鈴山（市川山の会）
- 10…山行報告2：空木岳（ちば山の会）
- 14…山行報告3：フンザ&ナンガパルバット周遊（まつど遠足クラブ1年さくら組）
- 18…山行報告4：フンザ&ナンガパルバット周遊その1（東葛山の会）
- 22…**行事報告1**：全国救助技術交流集会（岳人あびこ：教育遭難対策委員会）
- 26…**行事報告2**：会報担当者オンライン交流集会（機関紙委員会）
- 27…**行事案内1**：海外登山（韓国：道峰山・水落山・仏岩山）（海外委員会）
- 28…**行事案内2**：2025 オンライン講習会（第3回予告）
- 29…**行事案内3**：第18回ふれあいハイク
- 30…**行事案内4**：ウィークデーハイク（ハイキング委員会）
- 31…**行事案内5**：全国自然保護講座 in 青森（自然保護委員会）
- 32…予定表（8月・9月）



個人情報があるので取り扱いには注意して下さい。

『山行報告』や『行事報告』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りをお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm
写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

パキスタンの『フンザ&ナンガパルバット周遊トレッキング（2025年6月20日～7月6日<17日観>）に、千葉県連の仲間4名（3会）が参加しました。パキスタン首都：イスラマバードの空港での歓迎時の写真です。

インドとパキスタンとの紛争で実施できるかどうか、出発まで心配したことと思います。現地での体験を何度かに分けて報告（掲載）します。お楽しみに…。（編集子）

2025 年 7 月 17 日（木）千葉県連理事会議事録

2025 年 7 月 18 日 作成：富永好郎（東葛山の会）

日 時 2025 年 7 月 17 日（木）19:00～20:50 船橋市西部公民館 集会室 4
参加者 県連加盟各会理事、役員、全国連理事
司会：高橋理事（岳人あびこ）、書記：富永理事（東葛山の会）
欠席 5 名（理事 4、全国 1）

打合せ議題

1. 理事長挨拶（野田）

今月の司会は高橋理事（岳人あびこ）にお願いしております。今後状況をみて各理事に順にお願いする予定です。よろしくお願いします。

最近猛暑が続いたり、台風による大雨になったり天候が不安定です。天候に注意して夏山を楽しみましょう。8 月は、理事会はお休みとします。

「安全登山テキスト」の残りがあるので必要な方はお持ち帰りください。

2. 役員会報告（野田）

7 月役員会は、都合により中止しました。

3. 全国連理事からの連絡・情報提供等

石川 昌 副理事長

- ・全国 200 名近い事故が発生した。（7/15 現在）更にこれから夏山シーズンを迎えて熱中症等含めた増加が予想される、
- ・海外登山で 3 件の事故が発生。いずれもヘリコプターで救助される。
内訳は、エベレスト、マッキンレー、ペルー（内 1 名死亡）
- ・全国救助技術交流集会が開催された。（教遭委員会からも下記同報告）
- ・登山寿命を延ばす講習会が開催された。
- ・登山中、虫刺され（ダニ・アブ他）の被害が目立つ。
- ・熊に指を噛まれる被害が発生した。

4. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

① 事故報告

- ・団体名：岳人あびこ 日時：6 月 27 日 16 時 30 分頃 頃
場所：上高地 山行形態：無雪期登山 事故者：63 歳 女性
状況：コテージで調理中に包丁で左人差し指を切ってしまった
傷病名：切創 事故の原因：その他 パーティー人数：9 人
- ・団体名：松戸山の会 日時：7 月 4 日 13 時 25 分頃 頃
場所：裏磐梯 雄国湿原 山行形態：無雪期登山 事故者：76 歳 男性
状況：道迷い、計画と違う八方台登山口へ下山、無事発見された。

② 5月～10月クライミング講習（入門編）

第2回目：6/21に実施、第3回目：7/13に実施、第4回目：8/23予定

③ 7/5～6 第5回全国救助技術交流集会 白崎教遭委員（岳人あびこ）が参加

- ・道央連盟救助隊の滑落遭難者の救助報告
- ・岡山県連の滑落死亡事故報告とその後の検証報告
- ・ザイル担架の作り方・使い方の実演 など

→「ちばニュース8月号」に報告掲載

④ 全国連に「安全対策基金」申請の準備を行う。

2) 自然保護委員会（菅井）

- ・全国自然保護講座（9/27 青森県）の参加希望者を県連でまとめる。
WEB参加での参加も可能である。→「ちばニュース8月号」に案内掲載
- ・現在、山の“乾燥”が進んでいる。何か情報が有れば連絡をお願いします。

3) ハイキング委員会（田中）

- ・「軍荼利～一宮ハイキング 11/10（月）」10/17締切で予定している。
中止したりベンジ企画、「ちばニュース8月号」に掲載予定している。
- ・新春房総ハイキングを予定している。

4) 組織委員会（野田）

①今年の活動準備中 7/末オンライン委員会開催予定

②9月から各会に調査依頼予定の「各会状況調査」について

調査追加したい項目があれば提案をお願いします。

現状の追加予定項目

- ・男女別山行実績（回数） ⇒ 事故分析に活用
- ・ココヘリ加入状況 ⇒ 現状把握のため
- ・スマホ地図（コンパス）活用状況⇒利用ソフトの状況、故障時の対応など

5) 女性委員会（広木）

石田先生著書「一生、筋トレ」 代金の支払い 7月理事会でも可

通常価格 1,650 円 会員価格 1,500 円（送料込）

購入希望者は、広木まで連絡を。

女性委員 参加をお願いします。

申し込み締め切り延期

6) 海外委員会（安彦）

① 海外登山：韓国/ソウル5大名山（道峰山、水落山、仏岩山）10/17-21

参加者募集案内を『ちばニュース7月号』に掲載→ 申込者：15名（7/17時点）

締め切り：7月17日（木）→ 14名は航空券手配済み

旅行手配会社と参加申込みをいつまで継続できるか調整中→**8/17までの申し込みであれば20名まで増枠が可能。但し、料金の変動可能性あり。**

② 全国海外委員会（7/8/Tue：Zoom）参加

『2025 海外山行オンライン交流集会』：10月29日（水）開催決定

③ 海外山行計画書（ツアー含めて）を必ず全国連盟海外委員会に提出してください。

併せて、CC で千葉県連海外委員会に提出して下さい。(メールでお願いします)

*計画書の書式は、特に定めていませんので、各会の書式でお願いします。

*提出者は、山行参加者、会代表者、山行管理者など何方でも構いません。

7) 機関紙委員会 (安彦)

①『ちばニュースに関するアンケート集計結果』を各会代表者、県連理事会、
県連役員会にメーリングリストにて配信 (7/12) →ご意見をお待ちしています。

②『会報担当者オンライン交流集会 (7/24)』開催案内を『ちばニュース 7月号』
に掲載。担当者以外の方の参加も大歓迎です。→参加者 13 名 (9 会) で実施

③『ちばニュース』への投稿依頼

*表紙用写真、山行報告、行事報告、気に入った山道具・山小屋などの投稿を
引き続き継続募集中。毎月 20 日を目処に投稿をお願いします。

5. 役員会より (野田)

1) 理事会 (3 回/年)、総会の開催場所について適当な場所があれば提案ください。

→永尾理事説明 (添付資料参照) 更に、適当な会場があれば推薦してほしい。

2) 経費請求がある場合は、事前に会計担当 (細村) まで連絡をお願いします。

間に合えば 7 月理事会当日対応します。

経費請求書のフォーマットを使ってください。

3) 会計担当 (細村) より中間期 (7/10 現在) 概要説明

・執行率 (予算比) 収入 : 48.3%、支出 : 52.6%

・連盟費未納が 7 団体ある。早々の手続きをお願いしたい。

6. 全国連からの情報展開 (野田)

1) 会員証更新案内、対応忘れずにしてください。提出期限 8 月 4 日 (月) 着厳守

2) 第 27 回自然保護講座 in 青森

9 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日) 青森県 岩木青少年スポーツセンター

参加費用 8,000 円 (交通費含まず) 県連として参加の場合補助あり。

申込 : 8/31 締切 申し込み先 : 菅井委員長 (自然保護委員会)

3) 2025 年クリーンハイク集計用紙作成依頼 11/末 : 提出期限

4) 「若手のためのクライミング講習会」募集

10 月 4 日 (土) ~ 5 日 (日) 小川山「廻り目平」周辺

参加費用 : 7,000 円 (交通費含まず) 申込 : 9/3 締切

5) 第 19 回全国登山研究集会開催

11 月 15 日 (土) ~ 16 日 (日) 新大阪ユースホテル

参加費用 : 6000 円 (交通費含まず) 県連として参加の場合補助あり。

申込 : 10/14 締切

6) 山岳遭難セーフティカード

必要な会は枚数を理事会当日にお知らせください。まとめて全国連に申し込み
ます。届き次第郵送で各会に送ります。

*必要な部数口頭受付

**労山会員証
更新発行・配布
会員情報確認必須
提出期限
8 月 4 日 (月) 必着**

かがりび (40 部) / 岳人あびこ (60 部) / こまくさ (140 部) / 東葛 (60 部)
ふわく (50 部) / 茂原道標 (25 部) / 松戸 (85 部) / まつど遠足 (20 部)
山翠会 (20 部) / らんたん (30 部) / 岳樺 (0 部) / その他団体は後日連絡

7. 第 18 回ふれあいハイク参加者募集について (五木田)

- 1) 日時: 2025 年 10 月 26 日 (日) 君津市「三舟山」
「ちばニュース 7 月号」に掲載した。参加希望者は 9/10 締切。
「我孫子駅」発で鎌ヶ谷市役所経由での集合場所までのバス (往復) を検討中。

8. オンライン講習会 (伊東)

- 2 回 6/26 (木) ヘリ救助要請する場合の注意点
講師: 横山一隆さん (ちば山の会) 参加者: 25 人 (+ビデオ参加 1 人)
当日、講師不在のため、事前に録画したビデオにて講習。
併せて、ヘリコプター救助体験者からの報告 2 件がありました。
- 3 回 9/25 (木) 登山計画届システム「コンパス」の紹介
講師: インフカム株式会社
- 4 回 11/27 (木) クライミングの安全対策
講師: 石川 昌さん (全国連副理事長・遭難対策部長)

9. 各会理事からの活動状況報告

現状報告、県連活動に展開できそうな事項、困っていることなど、自由に発表。

1) ふわくハイキングサークル

- ・高齢化が進んでいる。
- ・まち歩きが多く会山行バリエーションに不満を持っている会員がいる。
北岳登山の企画では満足した声が聞かれた。
- ・SNS を通じて新人が 3 名増えた。

2) 市川山の会

- ・バスを使う山行が増えている。運転手の時間制約に山行計画が左右される。
また、登山口から 2~3 コースに分ける工夫をしている。
- ・電車を利用する場合、3 回/年は標高の高い山を計画・実施している。
- ・会山行として 17~18 回/年を、年初に計画と担当を決めて実施している。

10. その他

- 1) 9 月理事会 18 日 (木) 19:00~21:00 オンライン
8 月は理事会を休みます。夏山を楽しみましょう。
何かあれば役員会に連絡をお願いします。
- 2) 12 月は対面 (船橋市西部公民館) での理事会を予定しています。
- 3) 9 月以降、理事会司会を各理事にお願いします。
9 月は酒井理事 (船橋) が担当。近々担当リストを整理して連絡します。

以上

登山会員証が 5 年ごとに更新発行されます。現在配布されている会員証の有効期限は、今年 2025 年 12 月末日です。この発行のために、『会員情報』の確認が行われています。その提出期限が、この 8 月 4 日 (月) です。まだ提出していない会は、至急提出をしてください。

御岳山と日の出山：1泊2日の電車山行記

市川山の会 佐藤哲夫

5月17日、山の会員15名で奥多摩の入口 JR 青梅線の御嶽駅に9時20分に下車。天気予報通りの雨天の中、全員装備を整える。駅から西は屏風のような山々の姿、毎回来るたび威圧される。都心からわずか50^{km}の奥多摩の自然は東京の水の2割を支える多摩川の源流域だ。江戸期より幕府の保護政策もあり多くの野生動植物からなる森林地帯で豊かな生態系が生きている所と聞かされている。

滝本バスと御岳山ケーブルで一気に400mをかけ上がる。途中眼下の表参道を登る一般組の姿を見ながら、スロー組は楽しんで山頂駅に着いた。雨はいよいよ強く下界の眺望はあきらめるしかない。駅前の広場は見晴台なのに何も見えない。慰めるように大藤の花房が咲きこぼれ歓迎してくれていた。茶店で雨宿りを兼ね、ソバやうどんて早昼食にする。

本日の山行予定では、「日の出山往復して宿坊」でしたが、悪天候でもあり、武蔵御嶽神社を廻り宿坊へとコース変更。

雨道の中、今日泊りの宿坊を横目に山頂の神社を目指す。長い石段の左右は講社の参拝の碑群、杉並木の中、山頂の社殿に到着。鎮座しているのは、大口真神という神様とか。仏教色や記紀の神々とも違い、狼の狛犬が示すよう多摩の自然と共に素朴に生きた人々の素を伺わせる佇まいだ。雨霧の中、一望できるはずの景色は無く、再び石段を下り、御師集落の宿坊へと向かう。神代ケヤキのすぐ隣の山香荘に着いた時は全員濡れ鼠のよう。2時頃だった。

ロビー(民芸調)でコーヒーと団らんなど楽しい一時を過ごす。ロビーの中に武蔵御岳講の厚木利生講と示された襟のハッピーが掛けてあり、御師達の宿坊の伝統が伺われ、山小屋とは違ったもてなし様で風呂、食事と快適でした。

5月18日、早朝より日の出を拝もうと希望者6名で山頂へ登り、雨上がりの霧が立ち昇る中、社殿よりご来光を拝む。雲のフィルター越しでしたが気分爽快。宿坊での朝食は御岳名物「さしみこんにゃく」付きで美味かったが、8時の朝食なので、朝風呂に入ったり、もうひと眠りしたりで休息たっぷりでした。

9時に一般組の宿坊(御岳山荘)で2組合流して記念写真を撮る。予定ではスロー組は日の出山へ、一般組はロックガーデンを廻り日の出山方面とか。

集落の分かれ道でお互いの山行の健闘を祈り日の出山向かう。日の出山への尾根道は南面に杉や檜の人工林、北側は切り開かれ明るい自然林の端々に集落や御岳が望める。1時間10分ぐらいで山頂に立つ。望めるはずの都心や関東平野



は雲にさえぎられ、南側の丹沢山系だけが望めた。

混雑する山頂の東屋で写真の中の人と成り、下りはIさんの「イチニ・イチニ」の明るい声に足取り軽く来た道を引き返し、御嶽集落、神社下を通りケーブル御嶽駅に着く。藤棚の下で乾杯と軽食と団欒などをして一息する。後はケーブルで下山し御嶽駅より電車に乗り帰るだけの行程。毎回、山々の景観や草木の自然に抱かれる癒しに感激する。山行計画と準備をして下さるスタッフの皆様には感謝、ありがとうございますの御礼を申し上げる次第です。

埼玉県皇鈴山（678m）山行記

日にち：6月8日（日）

参加者：31名（男性10名、女性21名）

市川山の会 安東啓子

6時、西船橋を大型バスで31名を乗せ出発。男性10名、女性21名。やはり今回も女性がとても多い。天気は曇り。早朝、雨がパラついたが、問題はなさそう。バスは京葉道路、外環、関越道を通して、嵐山小川ICから一般道へ。そして登山口に向かいます。

車内では、自己紹介に続いてMさんより皇鈴山のある東秩父村について、又、コースの説明などがありました。東秩父村は、秩父郡に属し、埼玉県唯一の村であり、人口2700人。和紙の製造が盛ん…ということです。比企郡小川町も近くで、どちらも和紙で有名です。車窓から堂平山や笠山が見え、大霧山と合わせて比企3山の説明もありました。

本日6月8日は果物の日ということで、色々な果物の記念日を当てるクイズなどで楽しんだ。6月6日はサクランボ、10月26日は柿、11月3日はミカンなど。

8時、登山口の内出（打出）バス停に到着。Hさんの元気な号令で準備体操。8時13分出発。一般組もスロー組も、二本木峠までは車道に接しながら集落の小道を登って行った。6月らしく、栗の花、梅の実、クルミの実、桑の実、バナナの花と小さな実、皆さん大好きな木の実ばかりなので、大喜び。足元には、ワラビやフキ、ヘビイチゴ、キイチゴ、バライチゴ（モミジイチゴ）、フタリシズカ、マムシグサなどが見られた。少し高いところにはウツギ、コアジサイ、リョウブ、エゴノキ、ヤマボウシなど、かわいらしい花がたくさん咲いていて癒された。

途中、七滝祓戸大神に立ち寄り、小さな滝がいくつもあって、涼しげな水の音を楽しんだ。

1回目の休憩は8時50分。植林地の近くで、水分を補給。2回目の休憩は9時35分、二本木峠の近くで。甘いものもいただいて疲れも取れてみんな明るい笑顔で歩き出した。

9時45分、二本木峠に到着。そこから長い階段を昇ると、9時57分、愛宕山山頂（655m）。小さいながらも愛宕神社の石碑が建っていて、新しいしめ縄がかけられて

いた。坂を下り、車道を横切ると、皇鈴山への道が見えてきた。尾根西側の巻き道を利用せず、数回のアップダウンのある尾根通しに行く道を進んだ。

10時30分、皇鈴山山頂に到着。山頂の西側には東屋が建ち、小さい祠が祀られ、句碑ある落ち着いた雰囲気の中。東側には展望台があり、晴れていれば関東平野の大展望が広がる絶景スポットらしいが、今日は曇っているせいか、遠くは墨絵のようにうっすらと山々が見え、近くには寄居町や、東秩父村が。少し遠くに小川町などが見えていた。荒川もよく見えていた。すぐ近くに車もあり、車やバイクでこの展望台を目指してくる方も大勢いるようだった。

昼食を摂り、写真も撮り、11時32分、下山開始。今度は巻き道を利用して時間短縮。12時二本木峠に到着。スロー組と一緒に全員で写真を撮り、内手（打手）バス停へ向かった。

13時28分、全員無事、内手バス停到着。13時36分、バス出発。14時15分、グランテルマー湯滑川店で入浴し、汗を流した。15時30分、コンビニに立ち寄り、飲み物など購入し、今日一日無事山登りに参加できたことを祝って乾杯。東松山 IC より関越道、外環、京葉道路を通り、西船橋へ。17時15分到着。

この山行は、計画段階から何度も見直し、行き先や利用する施設も変更したり、準備が大変だったようです。無事行ってこれ本当に良かったです。皆さん本当にお疲れさまでした。そして、計画、準備してくださった皆様、ありがとうございました。今回が2回目の参加のお二人も、元気いっぱい歩いて楽しんでおりました。皆さんの人柄の良さに助けていただいているそうです。実り多い一日になりました。次回も楽しみです。



空木岳山行報告

ちば山の会 小泉香織

(山行日) 令和7年6月6日(金)～7日(土)

(天候) 晴れ

(参加者) 内堀・小泉

(コース・山行タイム)

6月5日(木)

20:30 出発⇒中央道:1:00 小黒川PAで車中泊

6月6日(金) (16.2km ↗2111m ↘1276m)

小黒川 PA4:50⇒駒ヶ根高原スキー場駐車場 5:45⇒林道終点⇒池山でない方の道⇒
8:35 池山小屋に泊まりの荷物デポ 9:00⇒尻無⇒マセナギ⇒大地獄&小地獄⇒迷い尾
根⇒ヨナ沢の頭⇒過ぎた辺りから雪が目立つようになる⇒空木平分岐⇒駒石⇒駒峰
ヒュッテ⇒14:00 空木岳⇒ピストン戻り⇒17:50 池山小屋泊

6月7日(土) (3.8km ↗59m ↘895m)

池山小屋 7:00⇒池山 7:25⇒駐車場戻り⇒お土産ショップ「こまかつぱ」で登山バッ
ジ買う⇒こまくさの湯⇒帰葉

「中央アルプス」北や南と比べて行く頻度が高くない(ごめんなさい)

木曽駒、宝剣岳、恵那山位しかなかった。

ずっと恋焦がれ、登ってみたかった「ウツギ岳」想像以上の素晴らしさでした。

最初は広葉樹が広がっています。尻無手前付近で植生が針葉樹にいきなり変わります。
尻無⇒マセナギと進み、イワカガミの大群生の最盛期に出会いました。

ここまでは、距離の割に標高が稼げていない。。。

暫くすると木やアルミ階段が連続して登場してくるようになり、名物?の「大地獄・
小地獄」にきた。地獄と言うからにはさぞかし。。。と思いましたが、実際は痩せ尾根と
岩のトラバースでした。



濃いピンクのイワカガミ大群生



大地獄果たして地獄であろうか?

迷い尾根を通過し、標高 2300m 付近（ヨナ沢の頭過ぎ）から灌木も目立ち始めます。ゴゼンタチバナの群生にも出会えました。

雪溪の箇所が多くなりました。ツボ足で行けるレベルです。

空木平分岐を過ぎ、標高 2500m 付近で森林限界。樹高が低いハイマツ・シャクナゲなどに変わります。この 2500m 過ぎからは視界が一気に開け、駒石や空木岳が見え始めてきて本当に美しかったです。



駒石の巨石



宝剣岳と千畳敷カールが良く見える。

グレーの花崗岩の巨石に白い花崗岩の砂礫にグリーンのハイマツの調和が素晴らしかったです。

ぜひ、空木岳山頂から駒峰ヒュッテ方面を振り返ってくださいねー。

白にグリーンにヒュッテの赤いお屋根がアクセントになり、そして素敵稜線が続いています。

空木岳山頂からの眺望は本当に素晴らしいです！

富士山・南アル・ハッー・浅間山・槍&穂・乗鞍・御嶽山などなど。

意外だったには、翌日、帰りの林道終点から見えた南アルプスです。前衛峰～深南部まで丸っと！これは凄すぎて、雄叫びをあげました。



空木岳山頂（2,864m）



山頂からぜひ振り返って欲しいステキ稜線

【小屋情報】

空木岳の日帰りは結構大変です（行き会った方も若いトレラン女性か健脚男性ばかりでした）

① 池山避難小屋

私達は、小屋泊になってもいいように寝床・食料を担いで小屋まで登りました。
小屋に小屋装備をデポし、そこからは日帰り装備で登りました。
時間詰めれば日帰り可能でしたが、せっかく荷物担ぎ上げてきたし、避難小屋に泊まることにしました。この避難小屋はあと2～1.5時間あれば駐車場なので、利用する方は少ないです。
前泊に利用されている方がいらっしゃいました。
上手いやり方だなと思いました。
また、緊急用に毛布・シュラフが置いてあります。
池山小屋で暗くなってしまうたら、ムリせず泊まった方がいいかと思います。
おトイレはトイレトペーパーはないので、お忘れなく！
小屋内は虫がやや多いので、虫除け対策あるといいと思います。



池山避難小屋



林道終点の東屋からは南アルプス前衛峰～深南

② 空木平避難小屋

標高 2500m 付近分岐を 20 分程進んだところにあります。
そこそこ泊まる方をお見かけいたしました。

③ 駒峰ヒュッテ

山頂直下にあります。
丁度、ヘリで荷下ろしの最中でした。
有人小屋（でも食事は出ないと思った。売店あると思う）寝具はあるので、ここのヒュッテが開いたら空木岳を登る方が沢山増えると思います（オープンが7月12日だったか、14日だったか）

小泉の5月山行

1 日（木）足利百名山～奥深部・赤雪山など	16.4km	↑1189m	↓1189m
2 日（金）雨の足利百名山～宿山・大七山～	4.9km	↑309m	↓308m
2 日（金）雨の足利百名山～観音山3山～	11.5km	↑10m	↓10m
3 日（土）足利百名山～足百4座+新足百1座など～	13.6km	↑863m	↓834m
11 日（日）毛無山（神戸中央山の会とコラボ）	7.7km	↑1206m	↓1206m
18 日（日）鳴神山	6.2km	↑667m	↓666m
18 日（日）笹久保山など	3.8km	↑288m	↓343m
24 日（土）鳴虫山など周回+外山	12.8km	↑1019m	↓1024m
25 日（日）富岡アルプス	6.4km	↑333m	↓343m
25 日（日）足利百名山～3座～	3.5km	↑131m	↓131m

6 月

1 日（日）甲州アルプス（大菩薩嶺～滝子山）	27.6km	↑1661m	↓2791m
6・7 日（金土）空木岳	20.1km	↑2171m	↓2171m
15 日（日）泉ヶ岳+2座	10.4km	↑915m	↓928m
19 日（木）高妻山	12.8km	↑1481m	↓1479m
22・23 日（日月）石尾根（鴨沢～奥多摩駅）	24.9km	↑2037m	↓2237m

以上

『ちばニュース』に関する
アンケート』集計結果

この春にアンケート調査を行い、多くの皆さんから回答をお寄せいただきました。
ありがとうございました。

7月12日（土）に、各会の『代表者』と『県連理事』の皆さんに『集計結果』を配信しました。

また、『設問10』では、多くの皆さんから貴重なご意見などをいただきました。それぞれに対して機関紙委員会のコメントを記入しました。

是非一読をし、感想やご意見などをお寄せいただけますと、今後の『ちばニュース』の編集・発行の励みになります。

お待ちしております。

（編集子）

「ちばニュース」に関するアンケート集計結果

千葉県勤労者山岳連盟
機関紙委員会

2025年7月11日

←報告書p.1

↓報告書p.2

◆はじめに

千葉県勤労者山岳連盟(以下、県連)の機関紙委員会では、毎月1回、機関紙である「ちばニュース」を発行しています。

今後の紙面づくりに活かすため、会員の皆さんが、「ちばニュース」をどのように読んでいるのか、「ちばニュース」を通して何を知りたいか、アンケートを実施しました。15団体すべてから回答を得ることができました。ご協力ありがとうございました。

設問1～9については、グラフに示したうえで機関紙委員会のコメントを追記しました。
設問10の自由記入欄には、様々なご意見をいただきました。個別に簡単なコメントを追記したので目を通していただければと思います。

詳細は、次頁以降をご確認ください。

【集計概要】

- 集計期間 : 2025年3月17日～4月25日
- 対象 : 県連所属15団体(633人※)全団体より回答あり
- 形式 : WEB、紙媒体
- 回答状況 : 回答数 268件 / 回答率 42.3%

※ 2024年11月末時点の会員数632人+増員1人

パキスタン『フンザ&ナンガパルバット周遊トレッキング』

まつど遠足クラブ1年さくら組 内藤光雅

ワンダーズアドベンチャー社（一昨年県連主催「エベレスト街道トレッキング」にてお世話になりました）による『フンザ&ナンガパルバット周遊トレッキング』に参加しました。実は、カシミール地方で起きたテロ事件を発端としてインドパキスタン軍事衝突に発展するのでは…との懸念から、一時ツアー中止の心配もありましたが、無事催行になりホッとしました。

今回のツアーは、世界第9位の高峰ナンガパルバット&世界最大の壁ルパール壁、世界最後の桃源郷不老不死の里と言われるフンザ、カテドラル（カソリック教会の大聖堂）と呼ばれる針峰群、氷河ハイキング、世界遺産タキシラ、世界最大級のファイサルモスク等々ハイキング&観光と見どころ満載のツアーでした。

<パキスタン ミニ知識>

（1947年イギリス植民地から独立、首都はイスラマバード、総人口2億3千万人
国土は日本の2倍、イスラム教徒が97%、公用語ウルドゥー語）



- ◆ 日程 2025年6月20日（金）～7月6日（日）<17日間>
- ◆ 参加者 6人（男性4人、女性2人） 内千葉労山所属4人
- ◆ ガイド 中山岳史氏（ワンダーズアドベンチャー代表）
- ◆ 現地ガイド イッサさん、アリさん

<行程>

1日目(6/20)

成田（タイ航空）12:00 発 → バンコク 15:30 着現地時間（経由）
タイ航空 19:30 発→イスラマバード 22:00 着現地時間 イスラマバード（泊）

2日目(6/21)

イスラマバード 9:45 発 →（パキスタン航空）→スウルドゥ 11:15
→（専用マイクロバス 6h）→カリマバード（泊）
機内からカラコルム山脈の黒と白の強いコントラストで彩られた山並みの中に
まさに威風堂々と輝いているナンガパルバットが見られました。

3日目(6/22)

宿泊したロッジから目の前にフンザ谷の大絶景が見られます。
フンザ村 アルチット村散策 ハセガワメモリアルスクール フンザ城見学
フンザ川の対岸ナガールへ ホーパル氷河見学
ドゥイカル村にある展望地イーグルネストからラカポシ(7,788m)、
ディラン (7,257m)、スパンティーク (7,027m)、

ウルタル（7,388m、長谷川恒夫が亡くなった山）などを見渡せられます。
ドゥイカル（泊）



ラカポシ



フンザ谷

4日目(6/23) 北フンザ観光

マイクロバスにてパサー（2,540m）へ1.5h、その後車で通れる最高地点の中国との国境クンジュラブ峠(4,693m)へ
途中アッタバード湖（大規模な地滑りによってできる。全長 20K）
シスパーレ（7,611m）、バチューラ、トポップダン（カテドラルの最高峰 6,106m）
をビューポイントから眺められます。
パサー（泊）



トポップダン



シスパーレ

5日目(6/24) パサー氷河ハイキング

白と黒のコントラストに彩られた氷河沿いの道を3時間ハイキングしました。
いたるところ所にバラ科の花が咲いています。
その後マイクロバスでミナピン村（2,012m）へ
ミナピン村（泊）

6日目(6/25) ラカポシ B.C ハイキング

ミナピンゲストハウス 6:30 → ハパクンキャンプ場 11:30
草地のキャンプ地ハパクン（2,804M）へ
対岸にはフンザの山々が広がっています。（ハパクン 2,804M テント泊）

7日目(6/26) ハパクン 7:00 → ラカポシ BC 10:00

稜線に出ると息を飲む美しさ。壮大な氷河の広がり、向こうに、真っ白に輝く山々
ラカポシからディランに続いている山並みが見渡せます。
昨年参加された東葛山の会：柳さんは、素晴らしい絶景に「生きていて良かった！」
と叫んだそうです。まったく同感です。
その後、ディラン氷河ハイキング（3時間）
（ラカポシ B.C 3400M テント泊）



ディラン氷河



ラカポシ BC キャンプ地

8日目(6/27) ラカポシ BC7:30 → ミナピン村 12:00

その後マイクロバスで北パキスタン中心地ギルギットへ (3 h)

ギルギット (ホテル泊)

9日目(6/28) ギルギットからライコット橋 (2 h)

ライコット橋からジープにて登山口フェアリー・ポイント (2,666m) へ (1Hr.)

大きな石や岩がゴロゴロ転がっているでこぼこ道で、落ちたら一巻の終わり間違いない崖の下は何百メートルの谷底になっている断崖絶壁の崖沿いをひた走ります。シートベルトは「ない」と言うので手すりに必死につかまります。

フェアリー・ポイント 14:50 → フェアリー・メドウ 18:00

ロッジのテラスからナンガパルパットの堂々たる山容が真正面に見られます。

観光名所らしく観光客は乗馬、ダンスを楽しみ、又、馬がのんびりと草をはむ風景が見られます。

フェアリー・メドウ 3,300 m (泊)



10日目(6/29) 休息日

フェアリー・メドウ (泊)

11日目(6/30) フェアリーメドウ 8:00 → フェアリーポイント 10:00

フェアリーポイントからライコット橋へ (1 h)

その後 マイクロバスにてタルシン村 (3 h) へ

タルシン村 2,900m (泊)

12日目(7/1) タルシン村からピックアップトラックにてタルシン BC へ (1 h)

タルシン BC 9:00 → ヘルリヒコッフア BC 10:00

ナンガパルパット南面高低差 4,500m 世界一を誇るルパール壁をまじかに眺められます。裾野から頂まで全景を仰ぎ見られます。あまりにも大きすぎて再度首を上げなければ全景を見られません。 テント泊 (ヘルリヒコッフア B. C3, 550m)

13日目(7/2) ナンガパルパット南面周辺ハイキング

突然轟音が響きわたります。雪崩の発生です。雪煙を上げながら雪が流れています。自然の脅威を感じさせられました。 テント泊 (ヘルリヒコッフア B. C)



ルパール壁



雪崩発生

14日目(7/3) タルシンまで下山 (4 h)

その後マイクロバスでチラスへ (8 h)

チラス (泊)

15日目(7/4) マイクロバスにてナランへ 終日バス移動

途中で壁画見学。バルサール峠 (4,100m) を越えて避暑地ナランへ

ナラン (泊)

16 日目(7/5) マイクロバスでイスラマバードへ (8 h) 終日バス移動
途中 タキシラ遺跡 (世界遺産)、ファイサルモスク (世界最大級モスク)
パキスタンモニュメント (独立記念塔) 見学



パキスタンモニュメント



タキシラ遺跡

イスラマバード 23:40 発 (タイ航空) →

17 日目(7/6) →6:20 着 (バンコク経由) 7:45 発 → 成田 16:00 着

【最後に】

行程の最初 1 週間は、激しい下痢に悩まされました。強い香辛料 or ミネラルウォーターで水洗いしていないチェリーを食べすぎたのが原因なのか。その後は、整腸剤を飲んで、なんとか体調は取り戻すことができました。

大絶景を満喫することはできましたが、食事はなかなか自分の口には合わず辛いものがありました。ただ、マンゴー、メロン、チェリーと果物は美味しかったです。もう少し日本食を持参する必要があったかな…と反省しています。

行く前は、紛争テロとかイメージして、パキスタンの印象はあまりいいものではありませんでしたが、行ってみると接したパキスタンの方々は、みんなフレンドリーでとても親切でした。また、行く先々で一緒に写真を撮りたい…とせがまれます。パキスタンの人にとっては、外国人は珍しくて一緒に撮りたかったようです。パキスタンのイメージは、好印象にすっかり変わっていました。

以上ご報告致します。

ー昨年 2023 年 10 月 25 日～11 月 13 日に、千葉県連海外登山として『エベレスト街道 (10 名参加)』と『5000m 峰 2 座登頂 (7 名参加)』の 2 コースのトレッキングを実施しました。

現地の山岳風景や人々などに魅了され、昨年 2024 年、本年 2025 年とワンダーズアドベンチャー主催のトレッキング (パキスタン、ネパール) に多くの人が参加しています。

「今後も通い続けたい…」と張り切っている人もいます。

ー昨年 2023 年の『ネパールトレッキング』については、『ちばニュース』2024 年 1 月号に『特集』を組んで掲載しています。是非一読を…! (編集子)

2025 フンザ&ナンガパルバット周遊トレッキング その1

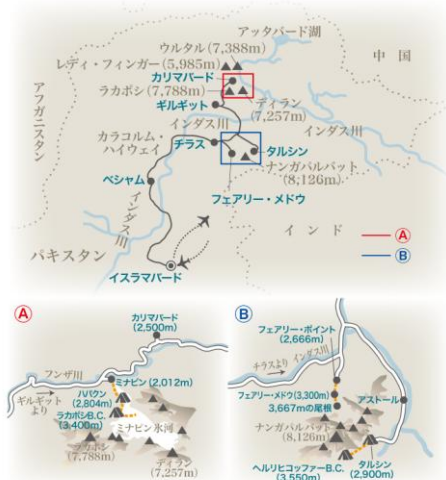
2025. 06. 20-7. 06

東葛山の会 林孝和

一昨年、県連のエベレスト街道トレッキングでお世話になったワンダーズアドベンチャー社長、中山岳史氏が主催されるフンザ&ナンガパルバット周遊トレッキングに参加しましたので、数回に分けて報告します。参加者は男性4名、女性2名の計6名。メンバーは東葛山の会からは私とOさんの二人、Oさんの友人で柏市のKさん、県連のエベレスト街道トレッキングで一緒した千葉市のYさんと東京のNさん、それから岡山県からの参加のFさんで、平均年齢は71才とシルバー隊でした。Fさんはツアー中に68才になったばかりの最年少ながら若い時からモンブラン、アコンカグア、キリマンジャロなど世界中の山々を登ってこられたベテランでした。

6月20日 朝9時に成田空港に集合してTG643で12:00に出発し、16:30バンコク着。TG349に乗り換えて19:00出発。22:10イスラマバード空港着。荷物を受け取ってから外に出ると、今回のツアーで世話をしてくれる日本語が堪能な現地ガイドのイッサさんと山岳ツアー会社METT.Mashabrum Expeditions Treks & Toursの社長さんがバラの花束で迎えてくれました。

記念写真を撮ってから専用バスで40分程でホテル・ヒルビューへ。



6月21日 荷物をスーツケースからダッフルバッグへ移して、朝食後7:50出発。イスラマバード空港からスカルドゥ空港まで飛行機で移動。この便は欠航になることが多いらしいが、その場合はバスで16時間の移動となるために、飛んでくれて感謝。飛行機の右側の窓側だとナンガパルバットが眺望できるが左側だったため残念。飛行時間は1時間弱で着けるスカルドゥ空港は高い山に挟まれたインダス川の谷間にあるために着陸時の狭い谷の中での旋回はスリル満点。スカルドゥはカラコルムへの始点のため、空港にはK2登山隊の写真が掲示してあります。荷物を受け取ってから外に出ると、METTのスカルドゥのスタッフが迎えてくれました。記念写真を撮ってから専用バスでインダス川の渓谷沿いのS-1道路をギルギット方面の南西へ下っていく。途中Midway Hotel Astakで昼食を摂る。ここではガーネットの結晶を含む片麻岩がみられた。またこの周辺ではインダス川に削られた岩壁に白い岩脈があり、それに沿って多くの穴が見られる。ペグマタイトの晶洞中の水晶、トルマリン、アクアマリンなどの鉱物を掘った穴である。後でこの産地の鉱物標本を購入できた。



その後、インダス川がフンザ川と合流する地点まで西方に下って、カラコルムハイウェイに入り、今度はフンザ川沿いに北へ上って行く。夕方 7 時半にラカポシビューポイントで休憩。夜 9 時頃にフンザの Roomy Daastan Hotel に到着しました。

6 月 22 日 早朝に起き出してフンザの景観を見るためにホテルの屋上へ。黒と白の鳥カササギが出迎えてくれました。あいにくの曇り空で朝焼けは望めませんでしたが、山々に囲まれた桃源郷フンザの絶景を楽しむことができました。朝食後、フンザの村を散策しながらウルタルⅡ峰で雪崩にあって亡くなったアルプス三大北壁の冬期単独登攀を世界で初めて成功させた登山家・長谷川恒男氏を記念して日本からの寄付で建てられたハセガワ・メモリアル・パブリックスクール訪問。次に水路に沿ってフンザ王国時代の象徴バルチット城まで上る。ここカリマバードは 1974 年まで独立国だったフンザ藩王国の王都があった場所です。フンザは自然の恵みを活かした素朴な食事で「長寿の里」としても知られ、お年寄りから子供まで、旅人を温かく迎えてくれる人々の優しさも印象的です。イスラム教スンニ派が大多数を占めるパキスタンにおいて、カリマバードに暮らす人々はイスマイール派を信仰しています。フンザでは、色白で鼻筋が通った、青い目をしたヨーロッパ風の顔立ちの人によく出会います。彼らの起源は、北方からの移民だとされています。ここでは美しい女性達が歩いている姿が見ることができ、この女性たちはカメラを向けても嫌がりません。バルチット城は藩主の居城だったもので、今は博物館になっています。15 世紀にチベット文化の影響を持つバルチスタン地方（スカルドゥ）から王女を迎えたことから、ポタラ宮に似ています。次にアルチット城を訪問。アルチット城は川向こうのナガール王国からフンザを守るために大理石の岩体の上に築かれた城で、城壁内部は迷路のようになっており、外部からの侵入を防いできました。ここではちょうどチェリー・フェスティバルが開催されていました。

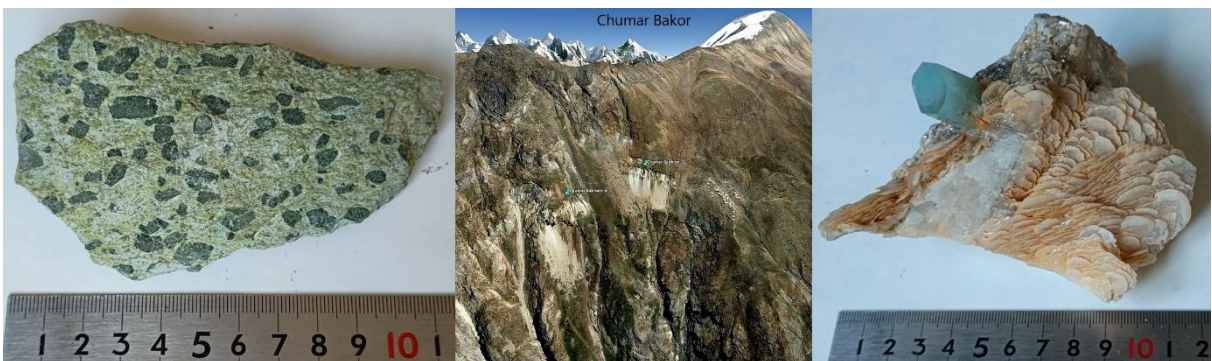




その後、フンザ川の対岸ナガールへ。ナガール王国とフンザ王国は 1700 年ごろから戦争を繰り返し、19 世紀まですべての村人が「要塞村」に暮らしていましたが、その後の人口の増加により溪谷沿いに新しい村が築かれました。ナガール川に沿って溪谷を登ってゆき、奥に位置するホーパル村の先のホーパル・バレー展望所からはディラン峰から落ちるホーパル氷河を望むことができます。



ホーパル・バレー展望所付近の岩石は緑色岩で Pyroxene の斑晶を多く含んでいます。このホーパル・バレーのすぐ西側には、フンザから南に入る SAS バレーがあります。この谷を上った所には、ちょうどホーパル村から真西に尾根を越えた反対側のスマヤル溪谷の標高 4,470m 付近にチュマール・バコル Chumar Bakor という有名な宝石採掘地があります。ディラン 7,266m の北側、標高 4,700 メートルを超える山の西側に露出するこのペグマタイトに到達するには、フンザから 4~5 時間のトレッキングが必要です。高地のため、夏の間だけ稼働しています。今回はフンザ周辺のお土産屋さんなどで比較的安価に当地のアクアマリンなどの貴石を購入することができました。



ホーパル・バレー展望所からは、同じ道に戻ってドゥイカルの丘のリゾートホテル Eagle's Nest Hotel へ。夕方には、すぐ近くにある展望地イーグルネストからはラカポシ山 7,388m、ディラン 7,266m、ウルタル 7,388m、スパンティーク 7,027m、フンザピーク、レディーフィンガーなどの絶景を楽しむことができました。



レディーフィンガーピークは現地語で「ブブリの山頂」を意味するブブリモティン。ウルタル・サール山塊の南西尾根に位置しており、南東のフンザ溪谷の上に急峻に聳えています。ブブリモティンは、近隣の山々の中でも比較的雪の少ない尖峰で、その名の「淑女の指」のように鋭く尖っている美しい岩峰で、6,000m のロッククライミングが楽しめる山でもあります。1995 年にクライマーの山野井泰史氏が未踏壁だったビッグウォール南西壁を妙子氏らと 3 人で初登しています。

この山頂にまつわる興味深い『民話』があります。

バルティスタン出身の魔法使いの王子キサルが冒険の途中、フンザを訪れ、ブブリという名のガ族の王女と結婚した…というものです。バルティスタンで、「最初の妻ランガブルモが誘拐された…」という知らせを受けると、キサルはすぐに彼女を救出する準備をしました。彼はブブリをこの山に連れて行き、穀物の入った袋と雌鶏を手渡しました。「彼女はいつ戻ってくるのか…」と尋ねました。キサルはこう言いました。「毎年この鶏に穀物を一粒ずつ与えなさい。袋が空になったら戻ってくる。それまではここにいなさい。」彼は去ったが、ブブリは未だそこで待っている…とされています。

第5回 全国救助技術交流集会 参加報告

教育遭難対策委員 白崎哲史（岳人あびこ）

日時：2025年7月5日（土）～6日（日）

場所：神戸セミナーハウス

主催：日本勤労者山岳連盟

主管：近畿地方協議会

参加：49名

神戸で開催された「第5回全国救助技術交流集会」では、参考になる技術や情報が多々紹介されるとともに、考えさせられる遭難事例も報告されました。

◎全国連遭対部 基調報告／石川昌遭対部長

登山における遭難概況について、警察庁生活安全局が公表した「2024年における山岳遭難の概況等」及び労山における過去10年間のデータを基に石川昌遭対部長が報告。そのポイントは、次の通りです。

- ・2024年の山岳遭難の発生件数、遭難者数、死者・行方不明者数、負傷者数はコロナ禍後に増加傾向にあったものの、いずれも前年を下回った。
- ・遭難発生件数が多い都道府県は、長野県、北海道、東京都、神奈川県でほぼ固定化している。
- ・遭難者のうち89.8%が40歳以上で、60歳以上は全体の50.0%、死者・行方不明者では、60歳以上が全体の64.0%を占めている。
- ・労山では、事故者数の男女比では女性の方が多く、その7割近くが転倒・滑落によるもの。一方、男性では病気の比率が女性よりも高い。
- ・事故発生時間では、13～14時が最も多くなっている。

◎講演「山岳遭難事故早期解決のために」／オーセンティックジャパン矢木澤専務

- ・遭難者からココヘリに連絡が入ると、捜索機関（警察もしくは遭対協）と連携して遭難者を探す。遭対協にはココヘリの受信機を貸与、警察にもある程度の数の受信機を貸与しているが、すべてではない。
- ・捜索機関の初動が遅れそうな際には、ココヘリが独自に民間ヘリあるいはドローンチームを出動させて遭難者の位置を特定する。→位置情報は、捜索機関に連絡。
- ・GPSを搭載した新型モデルを追加した。そのモデルは無線送信機能（SONY by ELTRES）も搭載していて、より確実に位置情報を捜索機関に知らせることが可能になっている。

◎地方連盟からの捜索・救助事例報告

【救助事例】報告／道央連盟救助隊

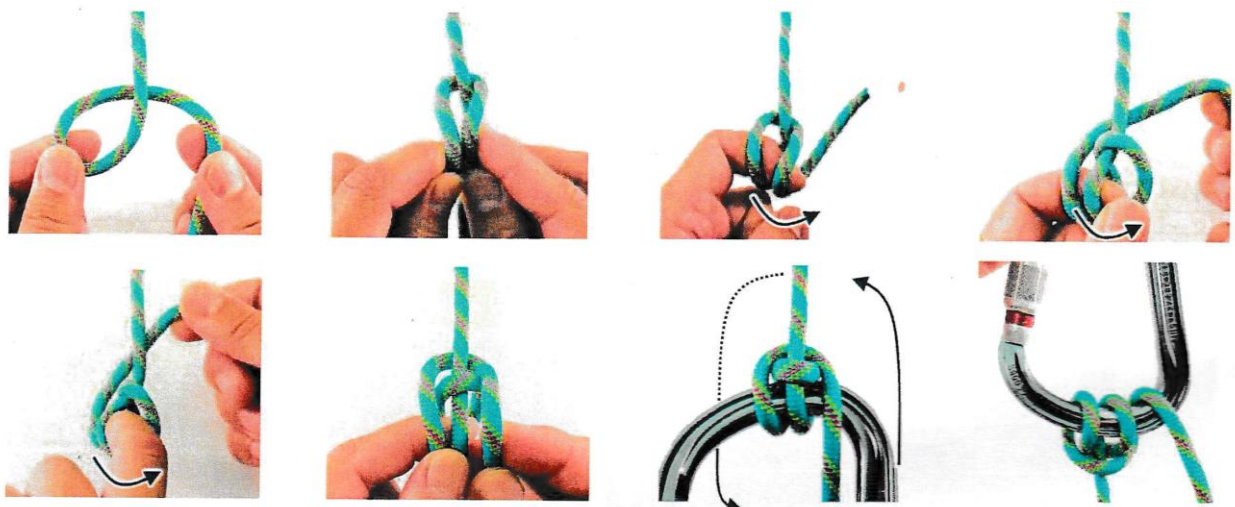
- ・日高山系スビナイ川エリアでの滑落遭難者の救助（2023年8月13日の事故、6名パーティ、要救助者は50代女性）。
- ・救助要請の連絡の受診後、警察と連絡をとりあって翌早朝に現地入りする予定で4名で行動開始。しかし、警察が約束の時刻になっても現れなかったため、午前8時35分に救助隊のみで車止めから出発。
- ・状況としては、雨天によりエスケーブルートの尾根を下降中に滑落した事案（遭難者は複数箇所の骨折が疑われた）。警察との話で河原に下ろしてヘリ救助という算段になっ

ていたため、遭難者を沢筋の河原に下ろす準備（支点構築）を開始。その途中で警察が合流し、指揮を交代、警察の指示の元で救助を手伝うことに。

- 当初は警察から「何もしないでくれ」と言われるが、ストレッチャに乗せた遭難者を100mほど河原まで下ろす必要があり、ロープの結び目が滑車を通過できるようにする作業など、人員はそれなりに必要な状況であった。
- 天候は回復せず、ヘリは一度飛来したが、ピックアップは困難だとして陸上搬送することになった（15時15分）。
- 6～7名×3グループ交代でのスノーボード搬送（スノーボードは救助隊が持参）。渡渉ポイントでは、ベルトコンベア方式で搬送した。
- 一部崩壊している林道からは、警察が用意したタイヤ付ストレッチャに載せ替えて搬送（河原の搬送は4.5km、林道の搬送も4.5km）。林道の崩壊地点では、支点を構築して安全を確保しての搬送となった。21時35分、車止めに到着。救急車に移乗。
- 救助で使用したデバイスや支点構築法、装備などについて詳細な説明が行われた。

【個人的感想】

- 全国的に救助隊は解散する県連が増えていなかで、北海道はかろうじて民間の救助隊が活躍できる（警察の救助に協力する）場がある印象を受けた。
- 救助隊は遭難者の安全救助、自分たちの安全確保を最重視し、北米の救助装備規格に合致したシステムを構築している。装備は最新のもので、とても頼もしく感じた。
- いくつか紹介された装備・システムの中で、耐荷重に余裕が生まれるスーパームンターと支点構築で用いられたラップスリープルーツ（W3P2, 3回巻いて2個引く）が参考になった。



【滑落死亡事故事例】報告／岡山県連 加治郷子

- 倉敷ハイキング倶楽部の広戸仙登山中の事故（2025年5月3日、20名パーティ、事故者は69歳女性）
- 津山市の観光案内として広戸仙登山マップが市のHPからダウンロードできる。パーティが計画したのも、そのマップに健脚向き（上級者コース／1日コース）と案内されているルートであった。しかし、HPでは「破線内の登山コースは倒木等あり危険な状況です」として、1日コースは通行不可とされている。とはいえ、広戸仙登山マップにはそのような記載はなく、パーティには通行止めだという認識はなかった。

- 1日コースへの分岐点に、市は通行止めの看板を設けたが、実際には外され、登山道脇に放置されていたこともあって、パーティの誰一人として注意を払わなかった。



- 1日コースは山肌をトラバースしながら広戸仙を周回するルートになっていて、急斜面では鎖が設置されている。とはいえ、その鎖はときに弛んでいたり、手で掴むには下過ぎたりして、使いにくいものであった。また、メンバーの誰もがヘルメットやロープはおろか、スリングやカラビナといったビレイツールを持参していなかった。
- パーティの何名かはこのルートを歩いたことがあり、滑落した女性も歩いた経験があることから、2班に分かれた後ろの班のリーダーとなっていた。
- 事故はそうした鎖の設置されたトラバース道（斜度 45 度ほど／写真）で起きた。遭難者は鎖に触れることなく、後ろの班の先頭を歩いていたが 11 時 46 分、何かの拍子に転倒してそのまま斜面を 40m ほど滑り落ちた。
- 遭難者が転倒した瞬間は誰も見ていない。後続者は自分の足下しか見てはいなかったからであろう。前の班の最後尾に近い人が、何気に後ろを振り返ったときに、斜面を滑り落ちて岩と岩の間に消えていく遭難者を目にしたのみだった。
- この後、3 名が沢に降りるルートを探して遭難者を見つけたが、本人の意識はなく、額に 4cm ほどの裂傷があった。12 時 7 分、3 名は交代で心臓マッサージと人工呼吸を行う。
- 他のメンバーが電波状況の良い場所を探して警察に連絡し、救助を要請。
- 12 時 10 分パーティは 5 名を現場に残して、当初の予定ルート（1 日コース）で下山を開始した。
- 12 時 45 分ヘリコプターが飛来。消防士 1 名が沢に降下し、13 時 20 分遭難者をヘリに収容した。
- 13 時 38 分救助に関わった 3 名が登山道に復帰し、現場に残った 5 名と合流、先に下山したパーティと同じルートで下山した。
- 事故後、岡山県連遭難対策委員会が現場検証を行ったが、その際には、ヘルメットにハーネス、ビレイデバイス、カラビナ、スリング、50m ロープ 2 本に補助ロープ 2 本というバリエーションルートを歩くための基本装備を参加者 7 名（遭対委員長・副委員長・委員 3 名・事故パーティの CL・遭対担当者）に求め、鎖場の通過の際にはスリングとカラビナを用いて安全を確保した。
- その現場検証で参加者からは、「ルート状況からは 10 名でも危ないコース」「事故後にそのまま計画のコースを歩いて下山したことに驚いた」「会ではロープや鎖は持たないようという指導を受けているそうだが、持っておけば良かったのにとおぼざるを得ない」「県連としては、登山道のなくなっている山や現在は通行が困難になっているルートについての対応を考えるべきではないか」「ハイキングの会でのセルフレスキューはどのようにあるべきかを考えていく必要があるようだ」といった感想が聞かれた。

【個人的感想】

- 「会ではロープや鎖は持たないという指導を受けている」とは、どのような意識で会として安全登山の意識づけを行っているのだろうか。確かに岩場であれば、できるだけ鎖やロープに頼ることなく、手がかりを自分で見つけて登ったほうが実力もつく。しかし、トラバース道での安全確保は、「あるものを活用する」が鉄則であろう。実際、遭難者が鎖をつかまなくても手を添えてさえいれば滑落は防げたと思われる。
- ルートも上級者コースとされているものの、現状はバリエーションルートの範疇に入るコースのように思える。挑戦するのであれば、リスクをきちんと認識したうえで装備を整え、安全策を講じて臨むべきだと思った。

◎搬送技術

【ザイル担架の作り方・使い方】

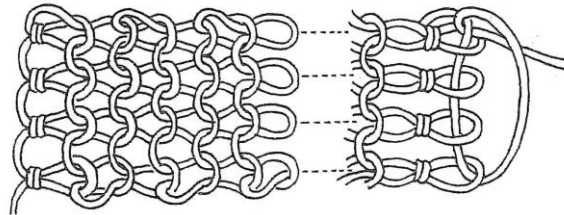
報告／川嶋高志理事長

- 用いるロープは 50m ロープが望ましい。30m 補助ロープでもできないことはないが、編み目を大きくしないと長さが足りなくなる。
- はじめに末端を 1~2m 程残し、4つのループをつくる。
その間隔は 10 数 cm 程度で、止め結びで編み目が動かないようにする。
- ループの中にロープをくぐらせ、新しいループをつくるようにして編んでいく。
- 人がこの担架に横になったとき、肩及び腰が当たる位置の両サイドのループは止め結びにして編み目が崩れないようにする。
- 末端も止め結びにして絞る。搬送は 8 名で行うのが望ましく、腰の部分に最も重量がかかる。搬送時には水平を保つことが求められるので、体力のある人を腰の位置に配置したほうがいだろう。

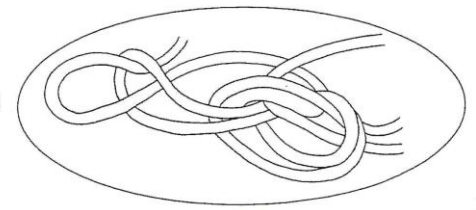
【個人的感想】

- かなり使える印象で、担架づくりは 15 分もあれば可能だ。ロープがあるなら、ザックを連結させての担架づくりよりも実用的なのではなかろうか。

ザイル担架



ザイル担架、止め結び結び拡大図



◎その他

近畿地方協議会が主管となっただけあって、関西からの参加者が大半を占めた。どこでも、救助隊の解散が相次いでいるとのことで、技術や知識の伝承が途絶えることは、寂しい限りではある。

ならば警察がどんな場合でも頼りになるのかというと、そうでもないらしい。「お仲間遭難された方を〇〇まで下ろせますか」とお願いをされることもあるという。つまり、そこで重要になるのか搬送技術であろう。

『会報担当者オンライン交流集会』報告

機関紙委員会委員長 安彦秀夫（東葛山の会）

日 時：7月24日（木）午後7時～9時15分、 Zoom

参加者：13名（9会）

（船橋、かがりび、松戸、あびこ、茂原、こまくさ、ふわく、ちば、東葛）

初めての試みでしたので、不安と期待の入り混じった心境で当日を迎えました。

結論を出すことは考えずに、参加者が日ごろ悩んでいることや考えていること、疑問に思っていること、そして、今後のこと・抱負などを、会報やホームページなどに限らず、自由に発言をしていただこう…と考えて集会に臨みました。

参加者の中には、参加目的をしっかりと持っていた方もおり、的確な質問や意見が出て、それに対して他の会からは、「自分の会では、こうですよ…！」と意見交換がされ、進行役としては大いに助かりました。いくつかを紹介します。

- ① 高齢化が進む中、後任に引き継ぐために「マニュアル」を作成している。
- ② 会報を継続して発行していくためには、色々な余計なツールを入れずにシンプルにして、誰でも続け易い方法で編集作業ができるように工夫が必要では…。
- ③ 「会報や例会の内容は…？」の問いかけに対して、各会から色々出されました。
→山行報告（感想文）、山行案内、山行一覧、机上講習、新人研修、会員紹介、思い出の山、山小屋情報、ちょっと一言、ヒヤリハット、巻頭言、編集後記……
「何でもよいのでは…？」という意見もありました。

<参加者からの感想>

◆ この度は会報担当者オンライン交流会を開いていただきましてありがとうございました。参加できて楽しかったです。今日の会報編集会議で少しだけですが経験したことを報告させていただきました。

当日は不安でしたが、Aさんの司会進行のおかげで、資料と皆さんの報告などで現状がよくわかりました。少人数で会報を発行している感じでしょうか！すごく詳しい方もいてカルチャーショックも受けました。会報部員として「会報」発行に非力ですが参加をさせてもらっているの、IT関係のスキルアップが急務かと思ってはいます。…が思うように先輩方に追いつけない現状です。当日は会山行と重なってしまったので残念に思います。次回はぜひSさんにも参加してほしいと思っています。（SK）

◆ 会報担当者オンライン交流集会ありがとうございました。

たくさんの方の会報づくりの体験を、交流集会という形で、色々な角度から情報を聞くことができて勉強になりました。

媒体が何処も徐々に紙から、電子・HPに変わる過程での苦労話は、身にしみてよくわかりパワーに感心しました。必要なスキルの獲得が部員の共通財産になり、楽しみながら充実感の持てる会報づくりが出来るといいなあと思います。ZOOMは慣れないと聞きづらいし喋るのに勇気が必要ですね。（KN）

お互いに情報交換を密にするために、担当者情報（アドレスなど）を公開しました。

2025 海外登山へのお誘い

韓国：紅葉ハイキング

道峰山（ドボンサン739m）・水落山（スラクサン637m）・仏岩山（ブラムサン508m）

千葉県勤労者山岳連盟 海外委員会

お隣の韓国・ソウル近郊にある花崗岩の山々のハイキングを昨年に続き企画しました。
『ソウル5大名山』の3座を、ソウルの街並みを望みながら県連の仲間と一緒に楽しみましょう！

日程：2025年10月17日(金)～21日(火) 4泊5日

旅行代金：約197,000円 (参加人数確定後に、改めて旅行会社と調整します)

◆ 旅行代金に含まれるもの：

国際線航空運賃往復(エコノミークラス)、ソウル仁川空港～ホテル往復送迎(大型バス)、
ソウル宿泊費(ホテル4連泊、ツイン、朝食付き)、**食事(朝食4回、昼食1回、夕食4回)**、
日本語ガイド費用(通訳ガイド1名、ハイキングガイド2名)、旅行会社手数料
諸費用(成田空港利用料、国際観光旅客税、出国・空港税、燃油サーチャージ)

◆ 旅行代金に含まれないもの：

食事代金(昼食3回)および食事の際の飲み物費用、**夕食は韓国グルメ三昧！**
ハイキング時の交通費(ホテル⇄登山口・下山口/地下鉄・バスなどを利用)、
チップおよび個人的使用の費用、航空機搭乗時の超過手荷物運搬料、
海外旅行保険料(任意保険)

募集人数：20名(先着順) **既に申し込み済みの15人の航空券は予約済みです。**

申込締切：8月17日(日) <航空券をグループ枠で手配>

最終申込締切を旅行会社と相談し、出発2ヶ月前までに延長！

問合せ・申込先：海外委員会 安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com Tel:090-5827-0571

専用『参加申込書』を、県連理事及び各会代表者経由で各会にメール配信しています。

必要事項を記入の上、パスポートコピーと一緒に、直接、安彦までメール送付してください。

日程：(『詳細日程(ホテル含む)』や『旅行代金』などは、参加者確定後、改めて旅行会社と相談・調整します)

宿泊：ホテル・アトリウム(Hotel Atrium) <https://www.seanhotelgroup.com/hotels/atrium-jongno/ja>

『ツイン×8部屋、トリプル×2部屋』を仮予約済みです。

日次	日付 (曜日)	スケジュール(行動予定) <ハイキングコース詳細等は、今後、旅行会社/現地ガイドと相談しながら決めます>	宿泊地	食事		
				朝	昼	夕
1	10/17 (金)	集合：成田空港・第1ターミナル北ウイング 11:00 (チェックイン後、各自屋食) 成田空港14:00→(大韓航空KE704)→ソウル・仁川空港16:30 通関後、日本語通訳ガイドと合流し、専用車で市内のホテルへ。 ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ(徒歩など)	ソウル	—	—	○
2	10/18 (土)	道峰山(739m)ハイキング (約6時間30分/12.5km) ホテル…ホテル最寄り駅→登山口最寄り駅…道峰山ハイキング …下山口最寄り駅→ホテル最寄り駅…ホテル (ホテルと登山口/下山口の移動は、地下鉄/バスを利用します) ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ(徒歩など)	ソウル	○ ホテル	×	○
3	10/19 (日)	水落山(637m)ハイキング (約5時間/8.6km) ホテル…ホテル最寄り駅→登山口最寄り駅…水落山ハイキング… …下山口最寄り駅→ホテル最寄り駅…ホテル (ホテルと登山口/下山口の移動は、地下鉄/バスを利用します) ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ(徒歩など)	ソウル	○ ホテル	×	○
4	10/20 (月)	仏岩山(508m)ハイキング (約4時間15分/8.6km) ホテル…ホテル最寄り駅→登山口最寄り駅…仏岩山ハイキング …下山口最寄り駅→ホテル最寄り駅…ホテル (ホテルと登山口/下山口の移動は、地下鉄/バスを利用します) ※通訳ガイドの案内で夕食のお店へ(徒歩など)	ソウル	○ ホテル	×	○
5	10/21 (火)	出発までフリー(各自で観光や買い物などをお楽しみください) ※通訳ガイドの案内で昼食のお店へ(徒歩など) 昼食後、ホテルに戻り、通訳ガイドと一緒に専用車で空港へ。 ソウル仁川空港17:25→(大韓航空KE713)→成田空港19:45 通関後、出口付近に集合し解散	—	○ ホテル	○	—

『1日1座』に変更。
天気予報によっては、
水落山と仏岩山を
1日で歩くことも想定
しています。
天候と参加者の状況
によって、現地ガイド
と相談して詳細を決
めます。

参加者継続募集中

2025 オンライン講習会案内

今年 2025 年も、恒例の『オンライン講習会』を 4 回企画しています。
詳細が決まり次第、順次『2025 ちばニュース』などでお知らせします。

<1> ネパール：アマダブラム 6,856m 遠征報告

(2024 年 10 月 22 日～11 月 16 日 (26 日間))

*講 師： 平野直子 氏 (ちば山の会)

*日にち： 4 月 24 日 (木) 午後 7 時～8 時 30 分

(講演 60 分、質疑応答 30 分)

*参加者：24 名 (講師含む) 午後 8 時 45 分終了 視聴多謝!!

終了

<2> ヘリ救助要請する場合の注意点

*講 師： 横山一隆 氏 (ちば山の会)

*日にち： 6 月 26 日 (木) 午後 7 時～8 時 30 分

(講演 60 分、質疑応答 30 分)

*『救助要請から待機・救助まで』を、ヘリコプターで救助する側の立場から「登山者の行動・注意点」などについてアドバイスあり。

*参加者：25 名 (+ビデオ参加：講師) 午後 8 時 35 分終了 視聴多謝!!

終了

<3> 登山計画届システム「コンパス」の紹介

*講 師： インフカム株式会社 代表取締役 今吏靖 氏

*日にち：9 月 25 日 (木) 午後 7 時～9 時

*コンパスと会山行管理の連携等の有用性を確認したい。

*「参加申込書」は、『2025 ちばニュース 9 月号』と一緒に配信予定

予告

<4> クライミングの安全対策

*講 師： 石川昌氏 (全国連 遭難対策部長、船橋勤労者山の会)

*日にち： 11 月 27 日 (木) 午後 7 時～9 時

*昨年 2024 年は、クライミング事故が 5 件発生しています。

既に 2 回を多くの参加者により実施しました。残り 2 回を予定しています。是非参加をお願いします。

第18回ふれあいハイク 君津市『三舟山』参加者募集

千葉県連 理事会

千葉こまくさハイキングクラブ 五木田啓文

今回で18回目を迎えたふれあいハイク、障千連結成50周年の節目に、交流を再開することになりました。障害者の方にも自然の素晴らしさを体感して頂く企画として、今回は君津市で地元の方にも親しまれている里山「三舟山 138.7m」ハイキングを計画しております。

通常は周回登山（約45分：1.7km）ですが、障害者と一緒の為、往復登山（約2.8km）とします。秋晴れの下、一緒にハイキングすることにより障害者の方との交流を深めたいと思います。

自然に親しむ権利は健常者だけにあるのではなく、障害者の方にもあることを、この交流を通じて確認できればと思っております。多くの方のご参加をお願いいたします。

記

1. 日時 2025年 **10月26日（日）**

2. 場所 千葉県君津市「三舟山（138.7m）」

3. 募集予定 *千葉労山 50名程度

*障害者 20～30名程度（車椅子 4～5台、視覚障害者、
その他障害者ボランティア含む）

（合計 80名程度）

4. 交通 大型バス 2台（内1台は車いす対応リフト付）

5. 参加費 5,000円程度（概算、県連から費用補助検討中 1,000円程度/1人）

6. 集合 **千葉駅東口から徒歩3分 旧NTT前 7:45**

「JR我孫子駅前→鎌ヶ谷市役所駐車場→旧NTT前」のバス検討中

（現地：三舟の里案内所駐車場 9:30）

7. コース及び予定時刻

千葉駅東口旧NTT前 8:00 発→松ヶ丘 IC→市原 SA（休憩 10分）→

君津 IC→三舟の里案内所駐車場 9:30 着（トイレ、サポート指導）

10:00…（1:30）…三舟山 11:30（昼食・交流）/12:50…（1:30）…

…三舟の里案内所駐車場 14:20/トイレ 14:50 発→君津 IC→松ヶ丘 IC

→JR千葉駅東口旧NTT前 16:00 着（解散）

8. 参加申込 五木田啓文（E-mail:gokigw2@yahoo.co.jp）

*各会で取りまとめてお申し込みください（参加申込書参照）

9. 締切日 2025年 **9月10日（水）**

『三舟山』については、
『ちばニュース5月号』
を参照してください。

「春のウィークデーハイク」再チャレンジ！

『低い やまあいの道』参加者募集

『関東ふれあいの道（千葉県）No.14』千葉労山アレンジコース

日にち 2025 年 **11 月 10 日（月）** 現地集合・現地解散/日帰り

集合：外房線『東浪見駅』改札口付近 午前 8 時 10 分

コース概略：上総一宮駅まで歩きます **約 5 時間（含む休憩）**

軍荼利山（東浪見寺）から洞庭湖をめぐる緑が綺麗な道をたどります。

途中、天然ガスの採掘井戸や設備があります。

参加者 各会で行動（駅から 6～700mにある**玉前神社**には各自参拝ください）

移動 <電車> 千葉駅から 858 円（片道）

<自家用車> 東浪見駅には駐車場はありません。

（上総一宮駅の海側には有料駐車場ありますが、ありすぎて混乱した）

当日行動（往）JR 千葉駅 6 番線 千葉駅 7:10 発（外房線 上総一宮 行）

上総一宮 乗換（安房鴨川 行）（次の駅）東浪見駅 8:07 着

京葉線や内房線で来る方は蘇我駅で乗換 7:18 発（外房線 上総一宮 行）

<ハイキングコース>

東浪見駅 8:15…8:45 軍荼利山 9:15…峠 9:45（休憩）…

…10:20 洞庭湖…10:30 トイレのあるところ<昼食・洞庭湖散策>11:00…

…11:40 望洋公園…13:00 上総一宮駅 解散（公共トイレは洞庭湖のみ）

※ 玉前神社 各自参拝（往復 1 時間弱）

（復路電車案内）上総一宮駅時刻（京葉線廻りは 蘇我駅で乗換 千葉駅に）

13:39（快・京葉線） 14:17（千葉行） 14:39（快・京葉線）

15:17（千葉行） 15:39（京葉線） 16:00（千葉行）

問合せ・申込み：田中康男（ハイキング委員会）

E メール：dz05434@nifty.com TEL:090-8331-6858

各会で纏めて申込みを…

参加申込締切：10/17（金）

**雨で中止となった
5 月の再挑戦！**

中止の場合は、3 日前の 11 月 7 日（金）19:00 頃にメールでお知らせします。

<豆知識> 軍荼利明王（ぐんだりみょうおう）密教 五大明王の一尊で・・・

障害を取り除き煩惱を退治する力があるとされています。

不動明王 降三世明王 軍荼利明王 大威徳明王 金剛夜叉明王



■自然保護委員会 9月27日 第27回自然保護講座 in 青森

2025年9月27日～28日、青森県弘前市で自然保護講座を開催します。

メインテーマは大型風力発電の自然破壊・健康被害です。

当日は「風力発電を地域から考える全国協議会」共同代表佐々木先生と元秋田県連の道川夫妻が低周波振動による健康被害の実体験を報告します。

講座では各地方が抱えている自然保護の活動報告と問題点の報告をします。

奮って参加して頂き、皆さんと現状を共有しましょう。

各地方連盟の自然保護活動報告の原稿締切日は、8月25日までとさせていただきます。

※ZOOM参加ご希望の方はお申し込みください。

【日 時】 9月27日 14:00～17:30

【場 所】 岩木青少年スポーツセンター

青森県弘前市常盤野湯段范1-2（嶽温泉） TEL0172-83-2338

【日 程】 9/27：研修室にて講義他 9/28：岩木山登山（マイクロバスにて移動）

【講 師】 佐々木邦夫 様

「北海道大学非常勤講師・北海道風力発電問題ネットワーク代表」他

【参加費】 宿泊費用 6000円＋懇親会費 2000円、日帰り参加 500円（資料代）

【交流山行】 岩木山の登山 9月28日（日） 希望者のみ（マイクロバス送迎）

【主 管】 青森県勤労者山岳連盟

【主 催】 日本勤労者山岳連盟・自然保護委員会

【問い合わせ・申込先】 日本勤労者山岳連盟 jwaf@jwaf.jp

【申込締切】 8月31日

参加希望者は、『参加申込書』に必要事項を記入し、**菅井修 自然保護委員会委員長**まで
提出期限：8月20日（水） Tel: 090-7847-9651 メール: fa23475@wa3.so-net.ne.jp
尚、オンライン参加希望者も、同様に参加申込書の提出をお願いします。
千葉県連としてまとめて申し込みます。

県連活動予定表

8月		
日付	曜日	県連活動予定
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	労山会員証発行用会員情報確認締切
5	火	
6	水	
7	木	立秋
8	金	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	全国海外委員会(ZOOM) 19:30
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	理事会 (休会)
22	金	
23	土	クライミング講習 (入門編) ④ 処暑
24	日	
25	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM)
26	火	
27	水	
28	木	海外委員会 (休会)
29	金	
30	土	
31	日	

9月		
日付	曜日	県連活動予定
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	↑ 関東ブロック役員交流会/筑波
7	日	↓ 白露
8	月	
9	火	全国海外委員会(ZOOM) 19:30
10	水	
11	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	
17	水	
18	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM)
23	火	秋分の日
24	水	
25	木	オンライン講習会③ (ZOOM)
26	金	
27	土	障害者全国交流集会
28	日	クライミング講習 (入門編) ⑤
29	月	
30	火	

事故発生時の連絡先

各委員会、25日までに予定を連絡ください。

●事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 安彦秀夫

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： https://www.cwaf.jp

事務所に常駐者はいません